

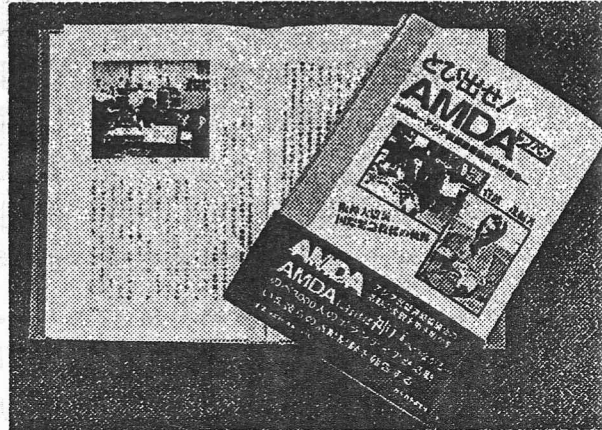
色鉛筆

▽：アジア医師連絡協議会（AMDA、岡山市榑津）の活動内容を紹介した「とび出せ！AMD A」(菅波茂編著、厚生科学研究所発行) Ⅱ写真Ⅱが、このほど出版された。

▽：第二部の「国際緊急救援の軌跡」では、これまでの国際舞台での活動ぶりを紹介。このほか、グラフィックの報告のほか、昨年十月、岡山で開催された国際貢献NGOサミットの内容など、AMDAのこれまでの国際舞台での活動ぶりを紹介。このほか、グラフィックの報告のほか、昨年十月、岡山で開催された国際貢献NGOサミットの内容など、AMDAのこれまでの国際舞台での活動ぶりを紹介。

▽：「とび出せ！AMD A」(菅波茂編著、厚生科学研究所発行) Ⅱ写真Ⅱが、このほど出版された。

▽：「とび出せ！AMD A」(菅波茂編著、厚生科学研究所発行) Ⅱ写真Ⅱが、このほど出版された。



「資料編」の計三部で構成。AMDAの活動の記録、これからの目指す方向性などをわかりやすく説明している。二百七十二ページ、千八百円。

加参

「とび出せ！AMD A」
菅波茂編著

「AMDA」はアジア医師連絡協議会の略称である。これまで主として、アジア、アフリカ、ヨーロッパの内戦による難民や自然災害の被災者への緊急救援医療に従事してきた。そのAMDAが日本国内で初めて緊急救援医療活動を行ったのが阪神大震災であった。本書には地震発生の当日から実際に救援活動に携わった医師、看護婦やその他多くのボランティアたちの行動記録、提言を含む体験報告と内外の専門家による学術報告に加えて、一九八四年のAMDA設立以来、現在も続いているカンボジア、ルワンダなど世界各地での救援活動の記録が収録されている。

編著者の菅波茂医師（AMDA代表）は、「ヒューマニズムは参加である」と説く。神戸へ行かなかつた人々にせびとも読んでほしい一冊である。

（厚生科学研究所・一八〇〇円）